

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（転換社債）	
信託期間	2020年9月18日まで（2016年9月15日設定）	
運用方針	世界好利回りCBマザーファンド2016-09受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国の転換社債等に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。 マザーファンドの転換社債等の運用にあたっては、ロンパー・オディエ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。	
主要運用対象	ベビーフンド	世界好利回りCBマザーファンド2016-09受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を含む世界各国の転換社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

世界好利回りCBファンド2016-09 （為替ヘッジあり）（限定追加型）

第3期（決算日：2019年9月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、お手持ちの「世界好利回りCBファンド2016-09（為替ヘッジあり）（限定追加型）」は、去る9月18日に第3期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	純資産総額
		税分	込配	み騰落		
(設定日)	円		円		%	百万円
2016年9月15日	10,000		—		—	12,857
1期(2017年9月19日)	10,532		0		5.3	15,867
2期(2018年9月18日)	10,365		0		△1.6	9,364
3期(2019年9月18日)	10,364		0		△0.0	8,050

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「新株予約権付社債（転換社債）組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率
		騰落	率	
(期首) 2018年9月18日	円 10,365		% —	% 96.5
9月末	10,391		0.3	97.2
10月末	10,360		△0.0	95.5
11月末	10,351		△0.1	98.0
12月末	10,302		△0.6	94.7
2019年1月末	10,396		0.3	93.4
2月末	10,460		0.9	96.8
3月末	10,484		1.1	95.9
4月末	10,494		1.2	96.7
5月末	10,461		0.9	92.3
6月末	10,481		1.1	96.4
7月末	10,485		1.2	98.0
8月末	10,475		1.1	96.4
(期末) 2019年9月18日	10,364		△0.0	90.8

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「新株予約権付社債（転換社債）組入比率」は実質比率を記載しております。

運用経過

第3期：2018年9月19日～2019年9月18日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第3期首	10,365円
第3期末	10,364円
既払分配金	0円
騰落率	-0.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べほぼ横ばいとなりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

2019年以降、米欧の金融当局の利上げに対する慎重な姿勢等を背景に米国とドイツの金利が低下したこと等を受けてグローバル転換社債（CB）市況が上昇したことや、CB利子収益を享受したこと等が基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

信託報酬等のコストや、一部の保有銘柄の価格の下落等が基準価額の下落要因となりました。

第3期：2018年9月19日～2019年9月18日

投資環境について

▶ グローバルCB市況

グローバルCB市況は上昇しました。

期首から2018年12月末にかけて、米中貿易摩擦や英国のEU離脱を巡る不透明感が強まったこと等を背景に、世界的に株式市況が下落したこと等から、グローバルCB市況は下落しました。その後、

期末にかけて、米欧の金融当局が利上げに対する慎重な姿勢を示したこと等を背景に米国とドイツの金利が低下したことや、世界的に株式市況が堅調に推移したこと等から、グローバルCB市況は上昇しました。その結果、期を通じてみると、グローバルCB市況は上昇しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 世界好利回りCBファンド2016-09 （為替ヘッジあり）（限定追加型）

世界好利回りCBマザーファンド2016-09受益証券への投資を通じて主として日本を含む世界各国のCB等を高位に組み入れるとともに、為替ヘッジを行うことで為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。

▶ 世界好利回りCBマザーファンド 2016-09

主として、日本を含む世界各国のCB等を高位に組み入れる運用を行いました。保有銘柄は原則継続保有しましたが、値上がりした一部の銘柄などについては売却を行い、信用状況や価格水準、流動性などを勘案しつつ、相対的に利回りが高いと判断した銘柄に再投資を行いました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第3期
	2018年9月19日～2019年9月18日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	610

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ 世界好利回りCBファンド2016-09 （為替ヘッジあり）（限定追加型）

マザーファンドへの投資を通じて、主として日本を含む世界各国のCB等を高位に組み入れるとともに、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図り、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行います。

▶ 世界好利回りCBマザーファンド 2016-09

各国の中央銀行は、慎重に経済・景気動向を見極めようとしています。短期的には市場が不安定な動きとなる展開も予想

されますが、相対的に利回り水準が高いCBに対する投資家の需要は根強いと見えています。

今後の運用につきましては、原則として償還または繰上償還請求可能日まで保有することを基本として、保有銘柄の信用状況等を継続的に注視していきます。なお、組入銘柄が償還となった場合や運用者の判断により銘柄売却をした場合等には、原則として、信託期間内に償還または繰上償還請求可能日を迎える銘柄に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行う方針です。

2018年9月19日～2019年9月18日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	110	1.059	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(73)	(0.702)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(34)	(0.324)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.032)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.022	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.018)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.004)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	112	1.081	

期中の平均基準価額は、10,428円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

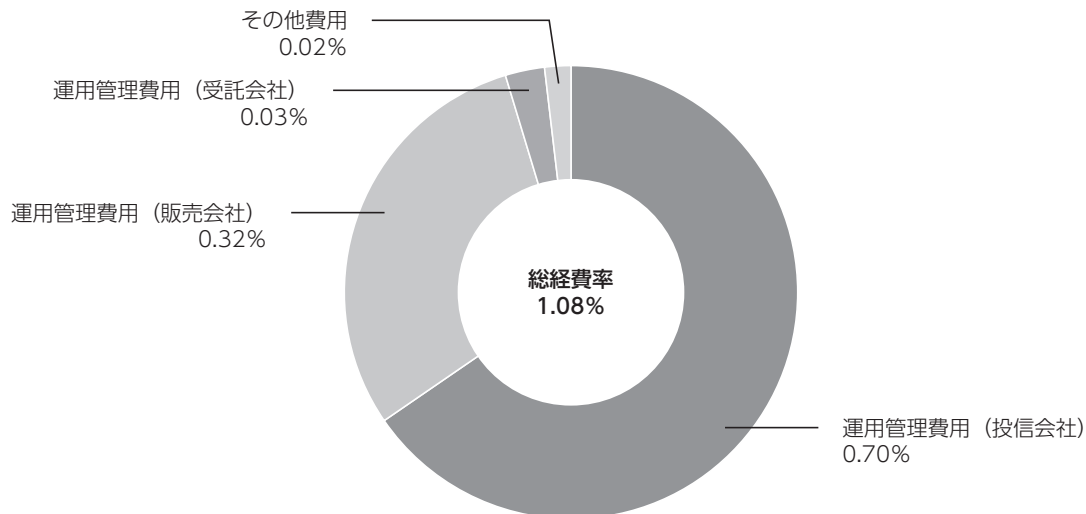
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.08%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2018年9月19日～2019年9月18日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
世界好利回りCBマザーファンド2016-09	千口 214,734	千円 253,000	千口 1,152,379	千円 1,401,000

○利害関係人との取引状況等

（2018年9月19日～2019年9月18日）

利害関係人との取引状況

<世界好利回りCBファンド2016-09（為替ヘッジあり）（限定追加型）>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B A		百万円	D C
為替先物取引	百万円 102,452	百万円 56,081	% 54.7	百万円 101,376	百万円 56,401	% 55.6

<世界好利回りCBマザーファンド2016-09>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	B A		百万円	D C
為替直物取引	百万円 3,296	百万円 1,092	% 33.1	百万円 4,644	百万円 598	% 12.9

平均保有割合 92.1%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

（2019年9月18日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
世界好利回りCBマザーファンド2016-09	千口 7,660,091	千口 6,722,446	千円 8,001,055

○投資信託財産の構成

(2019年9月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
世界好利回りCBマザーファンド2016-09	千円 8,001,055	% 97.1
コール・ローン等、その他	235,654	2.9
投資信託財産総額	8,236,709	100.0

(注) 世界好利回りCBマザーファンド2016-09において、期末における外貨建純資産（8,530,809千円）の投資信託財産総額（9,133,090千円）に対する比率は93.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.21円	1 ユーロ=119.76円	1 イギリスポンド=135.13円	1 香港ドル=13.82円
1 シンガポールドル=78.73円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年9月18日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	15,972,171,461
コール・ローン等	235,071,682
世界好利回りCBマザーファンド2016-09(評価額)	8,001,055,416
未収入金	7,736,044,363
(B) 負債	7,921,491,588
未払金	7,875,896,806
未払解約金	998,063
未払信託報酬	44,433,108
未払利息	447
その他未払費用	163,164
(C) 純資産総額(A-B)	8,050,679,873
元本	7,767,864,810
次期繰越損益金	282,815,063
(D) 受益権総口数	7,767,864,810口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,364円

<注記事項>

- ①期首元本額 9,034,300,788円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 1,266,435,978円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0364円です。

②分配金の計算過程

項 目	2018年9月19日～ 2019年9月18日
費用控除後の配当等収益額	8,106,157円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	-円
収益調整金額	1,964,580円
分配準備積立金額	464,171,918円
当ファンドの分配対象収益額	474,242,655円
1万口当たり収益分配対象額	610円
1万口当たり分配金額	-円
収益分配金金額	-円

- ③「世界好利回りCBマザーファンド2016-09」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の40以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

○損益の状況（2018年9月19日～2019年9月18日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 79,726
受取利息	282
支払利息	△ 80,008
(B) 有価証券売買損益	83,925,398
売買益	804,024,979
売買損	△720,099,581
(C) 信託報酬等	△ 91,461,427
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 7,615,755
(E) 前期繰越損益金	289,776,482
(F) 追加信託差損益金	654,336
(配当等相当額)	(1,964,580)
(売買損益相当額)	(△ 1,310,244)
(G) 計(D+E+F)	282,815,063
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	282,815,063
追加信託差損益金	654,336
(配当等相当額)	(1,964,580)
(売買損益相当額)	(△ 1,310,244)
分配準備積立金	472,278,075
繰越損益金	△190,117,348

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

世界好利回りCBマザーファンド2016-09

《第3期》決算日2019年9月18日

[計算期間：2018年9月19日～2019年9月18日]

「世界好利回りCBマザーファンド2016-09」は、9月18日に第3期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第3期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<p>主として日本を含む世界各国の転換社債等に投資を行います。 銘柄選定にあたっては、投資対象地域の分散、信用リスク、価格水準、残存期間、流動性等を勘案しつつ、世界の転換社債市場において相対的に利回りが高いと判断される銘柄に投資を行うことを基本とします。なお、信用格付けが投資適格未満（BBB一格相当未満）の銘柄への投資もを行います。</p> <p>原則として信託期間内に償還を迎える銘柄に投資を行い、償還まで保有することを基本とします。なお、運用者の判断により償還前に売却することがあります。</p> <p>転換社債の償還金等については、原則として信託期間内に償還を迎える転換社債に再投資を行います。ただし、市況動向や残存期間等によっては、信託期間内に償還を迎える普通社債や国債等に再投資することがあります。そのため、転換社債の組入比率が大幅に低下することがあります。</p> <p>転換社債等の運用にあたっては、ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント（ヨーロッパ）リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。</p> <p>組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の転換社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		新株予約権付社債 (転換社債) 組入比率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
(設定日)	円		%	%	百万円
2016年9月15日	10,000		—	—	15,300
1期(2017年9月19日)	12,103		21.0	98.0	17,445
2期(2018年9月18日)	12,151		0.4	97.1	10,105
3期(2019年9月18日)	11,902		△ 2.0	91.3	8,681

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準 価 額	騰 落 率		新株予約権付社債 (転換社債) 組 入 比 率
				騰	落	
	(期首)		円		%	%
	2018年9月18日		12,151		—	97.1
	9月末		12,367		1.8	97.5
	10月末		12,213		0.5	96.9
	11月末		12,281		1.1	98.3
	12月末		11,992		△1.3	97.3
	2019年1月末		11,978		△1.4	94.4
	2月末		12,274		1.0	97.4
	3月末		12,273		1.0	96.9
	4月末		12,354		1.7	97.4
	5月末		12,060		△0.7	94.4
	6月末		12,038		△0.9	98.5
	7月末		12,057		△0.8	98.6
	8月末		11,790		△3.0	98.5
	(期末)					
	2019年9月18日		11,902		△2.0	91.3

(注) 騰落率は期首比。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.0%の下落となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の変動要因

(上昇要因)

2019年以降、米欧の金融当局の利上げに対する慎重な姿勢等を背景に米国とドイツの金利が低下したこと等を受けてグローバル転換社債(CB)市況が上昇したことや、CB利子収益を享受したこと等が基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米中貿易摩擦問題や英国の欧州連合(EU)離脱等を巡る不透明感が高まった局面等では米ドルやユーロが対円で下落したことや、一部の保有銘柄の価格が下落したこと等が基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎グローバルCB市況

- ・グローバルCB市況は上昇しました。
- ・期首から2018年12月末にかけて、米中貿易摩擦や英国のEU離脱を巡る不透明感が強まったこ

と等を背景に、世界的に株式市況が下落したこと等から、グローバルCB市況は下落しました。その後、期末にかけて、米欧の金融当局が利上げに対する慎重な姿勢を示したこと等を背景に米国とドイツの金利が低下したことや、世界的に株式市況が堅調に推移したこと等から、グローバルCB市況は上昇しました。その結果、期を通じてみると、グローバルCB市況は上昇しました。

◎為替市況

- ・米ドルやユーロ等の主要通貨は対円で下落しました。
- ・米中貿易摩擦問題や英国のEU離脱等を巡る不透明感が高まった局面等では、投資家のリスク回避姿勢が高まり、安全資産と見られている円が買われたこと等から、米ドルやユーロ等の主要通貨は対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・主として、日本を含む世界各国のCB等を高位に組み入れる運用を行いました。
- ・保有銘柄は原則継続保有しましたが、値上がりした一部の銘柄などについては売却を行い、信用状況や価格水準、流動性などを勘案しつつ、相対的に利回りが高いと判断した銘柄に再投資を行いました。

○今後の運用方針

各国の中央銀行は、慎重に経済・景気動向を見極めようとしています。短期的には市場が不安定な動きとなる展開も予想されますが、相対的に利回り水準が高いCBに対する投資家の需要は根強いと見ています。

今後の運用につきましては、原則として償還または繰上償還請求可能日まで保有することを基本として、保有銘柄の信用状況等を継続的に注視していきます。なお、組入銘柄が償還となった場合や運用者の判断により銘柄売却をした場合等には、原則として、信託期間内に償還または繰上償還請求可能日を迎える銘柄に投資を行い、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざして運用を行う方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年9月19日～2019年9月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 2	% 0.018	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(2)	(0.018)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	2	0.018	
期中の平均基準価額は、12,116円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年9月19日～2019年9月18日)

新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
外	アメリカ	千アメリカドル 14,500	千アメリカドル 14,309	千アメリカドル 10,200 (24,200)	千アメリカドル 10,281 (24,200)
	ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	1,000	998	500	494
	フランス	—	—	1,307	1,393
	オランダ	2,900	2,870	—	—
	フィンランド	3,500	3,535	—	—
	ジャージー	1,600	1,573	—	—
	アラブ首長国連邦	1,000	943	900	827
	南アフリカ	—	—	1,100	1,100
	中国	1,400	1,371	700	701
国	イギリス	千イギリスポンド —	千イギリスポンド —	千イギリスポンド — (2,000)	千イギリスポンド — (2,000)
	香港	千香港ドル 96,500	千香港ドル 96,425	千香港ドル 28,000 (56,000)	千香港ドル 27,895 (56,420)
	シンガポール	千シンガポールドル 250	千シンガポールドル 247	千シンガポールドル —	千シンガポールドル —
	中国オフショア	千オフショア元 —	千オフショア元 —	千オフショア元 6,000	千オフショア元 6,112

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は予約権行使・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2018年9月19日～2019年9月18日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	%	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	%
為替直物取引	百万円 1,092	百万円 3,296	33.1	百万円 598	百万円 4,644	12.9

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2019年9月18日現在)

外国新株予約権付社債（転換社債）

銘柄	額面金額	当 期 末	
		評 価 額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)	千アメリカドル	千アメリカドル	千円
3.72 CEMEX SAB DE 200315	5,300	5,306	574,216
1.25 WHITING PETR 200401	3,000	2,963	320,640
4.75 PROSPECT 200415	6,100	6,153	665,877
0 MITSUI OSK 200424	1,200	1,105	119,580
0 CHINA MENGNIU D 220605	4,800	4,834	523,146
2 SINGHA ESTATE P 220720	2,000	1,977	213,986
0 CHINA OVERS 230105	5,800	6,407	693,362
小 計	28,200	28,747	3,110,809
	額面金額	評 価 額	邦貨換算金額
	銘柄数 < 比率 >	—	<35.8%>
(ユーロ・・・ドイツ)	千ユーロ	千ユーロ	
0 HANIEL FINANCE 200512	1,700	1,693	202,777
小 計	1,700	1,693	202,777
	額面金額	評 価 額	邦貨換算金額
	銘柄数 < 比率 >	—	<2.3%>
(ユーロ・・・オランダ)			
0 SALZGITTER FIN 220605	2,900	2,888	345,932
小 計	2,900	2,888	345,932
	額面金額	評 価 額	邦貨換算金額
	銘柄数 < 比率 >	—	<4.0%>
(ユーロ・・・フィンランド)			
3.25 OUTOKUMPU 200226	3,500	3,630	434,775
小 計	3,500	3,630	434,775
	額面金額	評 価 額	邦貨換算金額
	銘柄数 < 比率 >	—	<5.0%>
(ユーロ・・・ジャージー)			
0.5 PT JERSEY LTD 191119	1,600	1,600	191,719
小 計	1,600	1,600	191,719
	額面金額	評 価 額	邦貨換算金額
	銘柄数 < 比率 >	—	<2.2%>
(ユーロ・・・アラブ首長国連邦)			
0.5 AABAR INV 200327	6,800	5,708	683,645
小 計	6,800	5,708	683,645
	額面金額	評 価 額	邦貨換算金額
	銘柄数 < 比率 >	—	<7.9%>
(ユーロ・・・メキシコ)			
0 AMERICA MOVIL S 200528	4,600	4,591	549,837
小 計	4,600	4,591	549,837
	額面金額	評 価 額	邦貨換算金額
	銘柄数 < 比率 >	—	<6.3%>
(ユーロ・・・中国)			
0 ZHEJIANG EXPRES 220421	4,700	4,649	556,842
小 計	4,700	4,649	556,842
	額面金額	評 価 額	邦貨換算金額
	銘柄数 < 比率 >	—	<6.4%>
ユ ー ロ 計	25,800	24,762	2,965,531
	額面金額	評 価 額	邦貨換算金額
	銘柄数 < 比率 >	—	<34.2%>

銘 柄		当 期 末		
		額 面 金 額	評 価 額	
	外貨建金額		邦貨換算金額	
(イギリス) 0 BRITISH LAND 200609		千イギリスポンド 4,200	千イギリスポンド 4,165	千円 562,902
小 計	額 面 ・ 金 額	4,200	4,165	562,902
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<6.5%>
(香港) 0 HAITONG INTL 211025		千香港ドル 56,000	千香港ドル 56,654	782,969
小 計	額 面 ・ 金 額	56,000	56,654	782,969
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<9.0%>
(シンガポール) 1.85 CAPITALAND 200619		千シンガポールドル 6,500	千シンガポールドル 6,454	508,127
小 計	額 面 ・ 金 額	6,500	6,454	508,127
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	<5.9%>
合 計	額 面 ・ 金 額	—	—	7,930,340
	銘 柄 数 < 比 率 >	17	—	<91.3%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内の比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

○投資信託財産の構成

(2019年9月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
新株予約権付社債(転換社債)	7,930,340	86.8
コール・ローン等、その他	1,202,750	13.2
投資信託財産総額	9,133,090	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(8,530,809千円)の投資信託財産総額(9,133,090千円)に対する比率は93.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=108.21円	1 ユーロ=119.76円	1 イギリスポンド=135.13円	1 香港ドル=13.82円
1 シンガポールドル=78.73円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年9月18日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	9,133,090,912
コール・ローン等	1,180,694,032
公社債(評価額)	7,930,340,613
未収利息	22,056,267
(B) 負債	451,252,060
未払金	444,251,760
未払解約金	7,000,000
未払利息	300
(C) 純資産総額(A-B)	8,681,838,852
元本	7,294,465,532
次期繰越損益金	1,387,373,320
(D) 受益権総口数	7,294,465,532口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,902円

<注記事項>

- ①期首元本額 8,317,011,840円
 期中追加設定元本額 214,734,341円
 期中一部解約元本額 1,237,280,649円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.1902円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

世界好利回りCBファンド2016-09(為替ヘッジあり)(限定追加型)	6,722,446,157円
世界好利回りCBファンド2016-09(為替ヘッジなし)(限定追加型)	572,019,375円
合計	7,294,465,532円

○損益の状況 (2018年9月19日～2019年9月18日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	112,555,793
受取利息	112,662,233
支払利息	△ 106,440
(B) 有価証券売買損益	△ 283,974,952
売買益	240,007,556
売買損	△ 523,982,508
(C) 保管費用等	△ 1,652,179
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 173,071,338
(E) 前期繰越損益金	1,788,898,350
(F) 追加信託差損益金	38,265,659
(G) 解約差損益金	△ 266,719,351
(H) 計(D+E+F+G)	1,387,373,320
次期繰越損益金(H)	1,387,373,320

(注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。